

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒150-6019
 住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
 氏 名 日油株式会社代表取締役社長 宮道 建臣
 (代理人) 川崎事業所長 本多 義敬 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日油株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区千鳥町3番3号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の業容	化学工業製品、食品加工油脂製品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	15,848	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	日油株式会社の地球温暖化対策の取組みにつきましては、ホームページにて公表しています。 http://www.nof.jp/csr/globalwarming.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

日油株式会社川崎事業所は、以下に示しますレスポンスブル・ケアに関わる経営方針のもと、継続的な省エネルギーへの取り組みを推進し具体的な目標を定めた地球温暖化対策を展開してまいります。

【レスポンスブル・ケアに関わる経営方針】

日油は、顧客・地域住民・従業員に対する安全と健康の確保のため、また、環境の保全ならびに生態系および資源の保護のために、レスポンスブル・ケア(責任ある配慮)を持って全ての事業活動を行なうことを環境安全、製品安全、設備安全、物流安全および労働安全の 5 つの安全に関わる経営方針とする。

日油および関係会社の全ての役員ならびに従業員は、

- (1) 社会環境や自然環境に対する十分な安全配慮を持ち、
- (2) 適切な自主管理と緊密な業務連携のもとに、
- (3) 信頼性の高い安全性評価と関連法規の遵守により、
- (4) 製品の開発から製造・流通・使用を経て、最終の廃棄に至るまでの全てのプロセスにおける環境・安全および健康に及ぼす影響を最小化するよう努めなければならない。

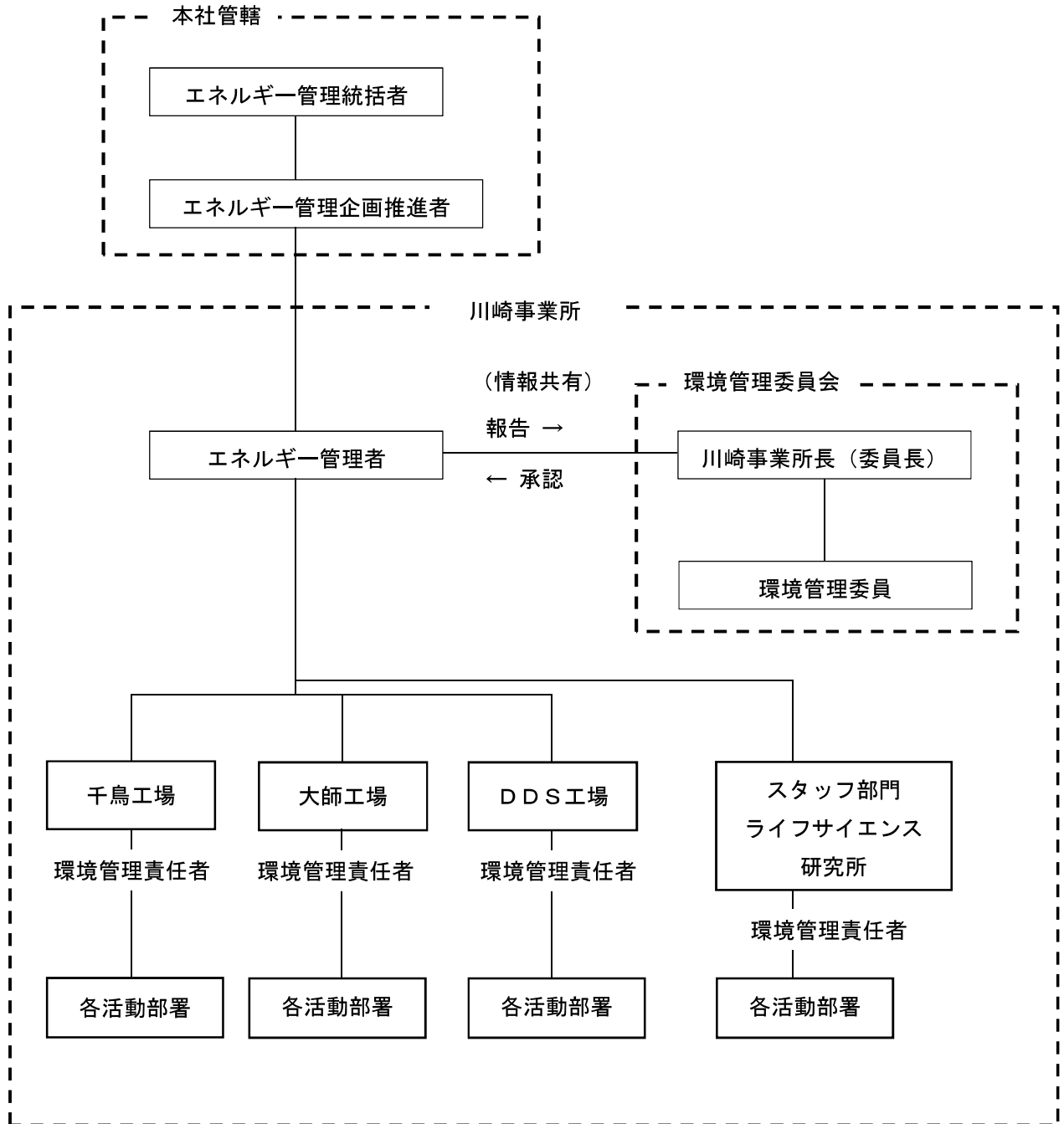
(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

I S O 1 4 0 0 1 マネジメントシステムの効率的運用と 4 半期毎に開催する環境管理委員会により、温室効果ガス削減を推進していきます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙のエネルギー管理体制を参照ください。

別紙 エネルギー管理体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2021				年度
目 標 年 度		2024				年度
基 準 排 出 量	(実)	29,627		(実)		
	(調)	29,523	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	29,330		(実)		
	(調)		t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量	(実)	297	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	297 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率	(実)	1.0	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		生産量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /t			
基 準 年 度 の 値		0.2249			
目 標 年 度 の 値		0.2182			
削 減 率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

<p>削減目標の基準は排出量原単位とし、3年間で3%とした。 削減施策として、以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明への変更 ・スチームトラップ交換による蒸気量削減 ・太陽光発電による削減 ・蒸気駆動コンプレッサーの安定稼働による電力量削減 ・生産性向上の検討（工程時間短縮による蒸気、電力量削減） ・非化石証書付きの電力を購入、活用 <p>また、排出量の削減率は、今後の生産動向、顧客の品質要望に伴う洗浄時間増大等を考慮し、3年間で1%とした。</p>

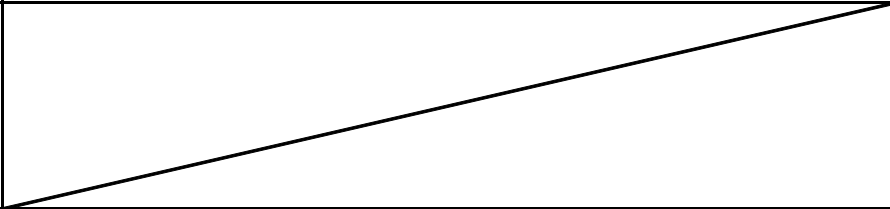
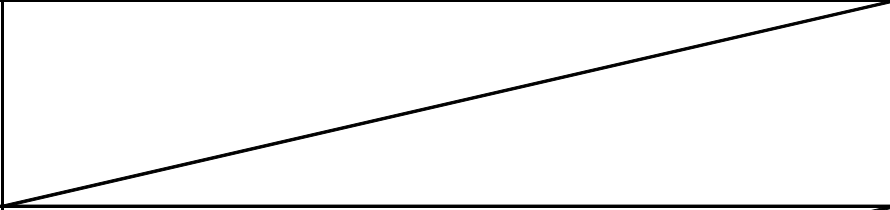
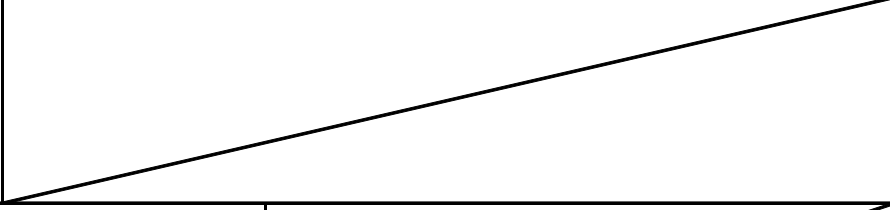
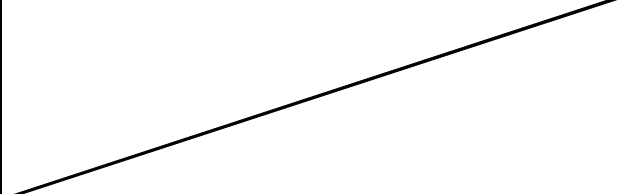
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>温室効果ガスの排出量削減のための措置について、以下に示します。</p> <p>①推進体制の整備 ISO14001マネジメントシステムのさらなる効率運用を図り、温室ガス排出削減を推進します。</p> <p>②スチームトラップの保安全管理強化 スチームトラップの定期的な保守、点検を強化、推進します。</p> <p>③照明設備の運用管理 ランプの交換時期に合わせた節電型ランプへの変更を推進します。</p> <p>④事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み 各種プロセスにて効果的な省エネルギー対策を検討、実施していきます。</p> <p>⑤川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用 川崎スチームネット株式会社から省エネルギー性に優れたCO2排出係数の低い蒸気を購入し効果的に活用します。</p> <p>⑥非化石証書付きの電力を購入、活用</p>	
<p>第 1 年度</p>		
<p>第 2 年度</p>		
<p>第 3 年度</p>		
<p>計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)</p>		

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ▪ 蒸気駆動コンプレッサーの安定稼働による電力量の削減 ▪ 太陽光発電設置稼働 ▪ 生産性向上への取組み ▪ スチームトラップの保安全管理

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	2018年設置、現在継続稼働
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	カネカ製 薄膜型 U-ZE115 16.56kW	2018/1/1
太陽光発電 (2021年度実績)	設置年度比: 97.1 % 17,325.8kWh (設置年度 2018年度) 16,825.3kWh (2021年度)	-

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会及び川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会合同会議に参加
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<p>その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取組みを実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化、分別化を推進していきます。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）を推進していきます。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	29,627	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

15,848	K L
--------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
日油株式会社 川崎事業所	川崎市川崎区千鳥町 3 番 3 号	29,627 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂